

新たな振興計画（素案）

学術・人づくり部会 調査審議結果報告書 （中間取りまとめ）

令和3年10月

沖縄県振興審議会
学術・人づくり部会

新たな振興計画（素案）
学術・人づくり部会調査審議結果報告書（中間とりまとめ）（案）
目次

目次

1 学術・人づくり部会の概要

- | | |
|------------------------|-----|
| (1) 学術・人づくり部会の所掌事務について | 1 頁 |
| (2) 学術・人づくり部会の構成について | 1 頁 |
| (3) 学術・人づくり部会の開催実績について | 1 頁 |

2 学術・人づくり部会における調査審議結果（中間取りまとめ）

- | | |
|-----------------------------|-----|
| (1) 新たな振興計画（素案）に対する修正意見について | 2 頁 |
| (2) 関連体系図（案）に対する修正意見について | 2 頁 |
| (3) 自由意見について | 2 頁 |

別紙 1 新たな振興計画（素案）に対する修正意見審議内容一覧
（学術・人づくり部会）

別紙 2 関連体系図（案）に対する修正意見審議内容一覧
（学術・人づくり部会）

別紙 3 自由意見の一覧（学術・人づくり部会）

1 学術・人づくり部会の概要

(1) 学術・人づくり部会の所掌事務について

沖縄県振興審議会に設置されている部会のうち、学術・人づくり部会は「教育・人材育成、歴史、学術等に関すること」を所掌することとされている（沖縄県振興審議会運営要綱第2条）。

(2) 学術・人づくり部会の構成について

学術・人づくり部会の構成は次のとおりである。

◎前津 榮健	沖縄国際大学理事長兼学長
○仲村 守和	沖縄県N I E推進協議会会長
大城 りえ	沖縄キリスト教短期大学教授
大庭 憲	一般社団法人沖縄県専修学校各種学校協会会長
翁長 有希	一般社団法人沖縄キャリア教育支援企業ネットワーク理事
嘉納 英明	名桜大学国際学群教授
喜屋武 裕江	一般社団法人グッジョブおきなわプロジェクト代表理事
金城 伊智子	沖縄工業高等専門学校情報通信システム工学科教授
島袋 恒男	琉球大学名誉教授
宮城 潤	那覇市若狭公民館館長 特定非営利活動法人地域サポートわかさ 理事兼事務局長

※◎は部会長、○は副部会長を示す。

(3) 学術・人づくり部会の開催実績について

学術・人づくり部会の開催実績は次のとおりである。

○第1回学術・人づくり部会

日時：令和3年7月29日（木）10:00～12:00

場所：八汐荘 屋良ホール

議題：

- (1) 新たな振興計画（素案）について
- (2) 部会の運営方法等について
- (3) 調査審議（検討テーマ：学校教育）
- (4) 第2回調査審議箇所について

○第2回学術・人づくり部会

日時：令和3年8月12日（木）14:00～16:00

場所：サンパレス球陽館 大会議室

議題：

- (1) 第1回部会における確認事項について
- (2) 調査審議（検討テーマ：高等教育、地域人材、産業人材）
- (3) 第3回調査審議箇所について

○第3回学術・人づくり部会

日時：令和3年8月26日（木）14:00～16:00

場所：八汐荘 屋良ホール

議題：

- (1) 第2回部会における確認事項について
- (2) 調査審議（検討テーマ：生涯学習、文化財等）

○第4回学術・人づくり部会

日時：令和3年9月6日（月）10:00～12:00

場所：八汐荘 屋良ホール

議題：

- (1) 新たな振興計画（素案）に対する意見について
- (2) 中間報告の取りまとめについて

2 学術・人づくり部会における調査審議結果（中間取りまとめ）

(1) 新たな振興計画（素案）に対する修正意見について

新たな振興計画（素案）に対する修正意見については、別紙1（新たな振興計画（素案）に対する修正意見審議結果一覧（学術・人づくり部会））のとおりである。

(2) 関連体系図（案）に対する修正意見について

関連体系図（案）に対する修正意見については、別紙2（関連体系図（案）に対する修正意見審議結果一覧（学術・人づくり部会））のとおりとりまとめた。

(3) 自由意見について

学術・人づくり部会における調査審議の過程において、(1)及び(2)以外の意見について、別紙3（自由意見の一覧（学術・人づくり部会））のとおりとりまとめた。

新たな振興計画(素案)に対する修正意見審議結果一覧(学術・人づくり部会)

部会名: 学術・人づくり部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正案等)	理由等	審議結果(案)
1	4	44	18	【追加】	-	<p>・文書の収集・デジタル化・公開等 県民利用について、「琉球政府関係文書」「米国立公文書館に所蔵されている資料」を対象とする形で記載されていますが、これらに加え、移民関連資料の収集・保存・デジタル化・県民等世界のうちなーんちゅの利用に供することは非常に重要であり、今振興計画期間に取り組み必要があると考えるところ、取り組みへの追加を提案します。</p> <p>・移民関係者の高齢化などに伴い、資料の散逸が危惧される状況にあること、過去の歴史、つなかりを証する資料を保存することは、ウチナーネットワークの継承・拡充のためにも重要である。</p>	【原文のとおり】 基本施策4(2)ア①「国内外のウチナーンチュとの絶え間ない交流」の中で記載しているため、原文のとおりとする。
2	4	157	28	【追加】	-	<p>コロナ禍を機に、学校教育では文科省が推進するGIGAスクール推進が前倒しで整備され、一人1台タブレットの支給等ハード面はほぼ整いましたが、ソフト面、教材に関してはこれからです。</p> <p>沖縄の自然・文化や生活に根ざしたGIGAスクールに対応した学習用デジタルコンテンツ等のソフト面の充実も視野に入れられるとよいのではないかと。</p>	【原文のとおり】 デジタル教材の充実が重要であり、168頁4行目に記載しているため、原文のとおりとする。

新たな振興計画(素案)に対する修正意見審議結果一覧(学術・人づくり部会)

部会名: 学術・人づくり部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正案等)	理由等	審議結果(案)
3	4	157	29	いつでもどこでも学びを深められる環境が形成され、生まれ育った地域や社会のつながりを大切にす る豊かな心を持った人づくりを目指す。	-	<ul style="list-style-type: none"> • どのような環境のことを指しているか、オンライン学習環境のことなのか読み取れない。 • 次に続く「生まれ育った地域や社会のつながりを～」の文章との関係性がなければ、文章を2つに分けた方がよいか。 	【原文のとおり】 当該文章は多くの施策のリード文として10年後の目指す姿を記載しており、今後詳細な文章に変更する際にどのように修正できるか検討を行うこととし、現時点では原文のとおりとする。
4	4	158	6	沖繩らしい個性を持った人づくりに向け、地域の自然環境、歴史、伝統文化や芸術に触れる体験活動を促進するため、次に掲げる施策を展開する。	-	今後10年に向けた基本施策と考えた場合、「地域の自然環境、歴史、伝統文化や芸術に触れる体験活動を促進するため」の体験は、博物館や公民館発信でオンラインやVR等をふくめたスマート技術を介した環境も重要となりつつあるため、検討いただきたい。	【原文のとおり】 体験的な学習活動には、様々な方法があり、情報通信技術を活用した学習もその一つであり、「多様な学習機会」の中に含まれていると考えられるため、原文のとおりとする。
5	4	158	10	子どもたちが地域の自然、歴史、環境等に親しみ、	子どもたちが地域の 自然環境 、 歴史 、 文化 等に親しみ、	地域の「自然、歴史、文化」と使うのが一般的である。自然、歴史、文化を統合したのが環境になり、広い意味に解されるのではないでしようか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。

新たな振興計画(素案)に対する修正意見審議結果一覧(学術・人づくり部会)

部会名: 学術・人づくり部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正案等)	理由等	審議結果(案)
6	4	158	14	【追加】	-	図書館設置は市町村の義務であるが、また、未設置の町村があり、当該児童生徒が不利益にならないよう、行政のキメ細かい支援が必要である。	【原文のとおり】 図書館未設置町村の児童生徒に不利益が生じないような支援は重要であると認識しており、離島や図書館未設置町村等の住民に対して読書環境の充実を図るサービスを実施しております。修正については、今後詳細な文章に変更する際に検討を行うこととし、原文のとおりとする。
7	4	158	16	多様な学習機会の提供や社会教育指導者等の	-	各市町村の社会教育活動を中心的に担っているのは社会教育主事だと思つのでどこかに社会教育主事を明記してほしい。また、各市町村に社会教育主事配置を促す意味からも意識づけが必要ではないでしょうか。	【原文のとおり】 「社会教育指導者等」には、社会教育行政の中枢として地域住民の学習の促進を支援する重要な役割を担う社会教育主事その他、地域において様々な分野で活動する多様な人材も含めた表現としていることから、原文のとおりとする。
8	4	158	29	子どもの規範意識等を育み、生きる力の基礎的な資質や能力を育成する場となる家庭における教育を支援するとともに、学校、地域社会と家庭との連携・協働による教育力の充実につながる次に掲げる施策を推進する。	子どもの生きる力の基礎的な資質・能力を育む場となる家庭における教育を支援するとともに、学校、地域社会と家庭との連携・協働による教育の充実につながる次に掲げる施策を推進する。	・文頭に「子どもの規範意識を育み」と入ることで、「規範意識の醸成」が生きる力の主要な資質・能力と読み取れてしまう懸念がある。 ・文科省の表記は統一されていないか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。

新たな振興計画(素案)に対する修正意見審議結果一覧(学術・人づくり部会)

部会名: 学術・人づくり部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正案等)	理由等	審議結果(案)
9	4	158	30	学校、地域社会と家庭との連携・協働	-	家庭教育の支援や子どもを育てる体制づくりの構築には、保育所・幼稚園・認定こども園との連携も必要。	【原文のとおり】 当該箇所の「学校・家庭・地域」は、地域住民をはじめとした多様な人材の参画を得て、社会全体で子供たちの健やかな育ちを支える環境の構築に向けた取組を推進することを記しております。また、教育委員会では、これまでも保育所や認定こども園、社会教育関係団体、NPO、企業等と幅広く連携を図りながら家庭教育支援の取組を推進していることから、原文のとおりとする。 なお、子育て支援の取組や人材の確保等に関する施策については、「基本施策2(2)誰もが安心して子育てができる環境づくり」の57頁13行以降に記載されており、素案全体として意見は反映されているものと考えております。
10	4	159	5	相談員等の資質向上	-	児童委員や民生委員の重要性が今後さらに高まると考えられる一方で、担い手不足は深刻です。「相談員等」に含まれているとは思いますが、あえてこちらに明記することで周知にもなると思います。	【原文のとおり】 児童委員及び民生委員に係る施策については、66頁31行目から33行目に記載しているため、原文のとおりとする。

新たな振興計画(素案)に対する修正意見審議結果一覧(学術・人づくり部会)

部会名: 学術・人づくり部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正案等)	理由等	審議結果(案)
11	4	159	12	学校、家庭、地域が連携・協働し、	-	家庭教育の支援や子どもを育てる体制づくりの構築には、保育所・幼稚園・認定こども園との連携も必要。	【原文のとおり】 当該箇所の「学校・家庭・地域」は、地域住民をはじめとした多様な人材の参画を得て、社会全体で子供たちの健やかな育ちを支える環境の構築に向けた取組を推進することを記しております。また、教育委員会では、これまでも保育所や認定こども園、社会教育関係団体、NPO、企業等と幅広く連携を図りながら家庭教育支援の取組を推進していることから、原文のとおりとする。 なお、子育て支援の取組や人材の確保等に関する施策については、「基本施策2(2)誰もが安心して子育てができる環境づくり」の57頁13行以降に記載されており、素案全体として意見は反映されているものと考えております。
12	4	161	14	ア 確かな学力を身に付ける学校教育の充実 社会変化の著しい現代において、新たな時代を創るために必要とされる資質・能力を育むことが重要であることから、児童生徒一人ひとりに基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な力等を、確かな学力として身に付けることができる学校教育の充実に向けた次に掲げる施策を推進する。	ア 確かな学力を身に付ける学校教育の充実 社会変化の著しい現代において、新たな時代を創るために必要とされる資質・能力を育むことが重要であることから、 主体的・対話的で深い学びを表現するため、個別最適な学びや協働的な学びに取り組み、児童生徒一人ひとりが基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、確かな学力を身に付けることができる 学校教育の充実に向けた次に掲げる施策を推進する。	・教えるほうに力点が置かれすぎて、教えて子供たちをどう育てるかというところまでは教育システムや教育方法が十分に意識していけない部分があり、この辺をもう少し前面に出したほうがいいのではないかと。 ・表現を習得させるのではなく「児童生徒一人ひとりが獲得する」という表現にしてはどうか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。

新たな振興計画(素案)に対する修正意見審議結果一覧(学術・人づくり部会)

部会名: 学術・人づくり部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正案等)	理由等	審議結果(案)
13	4	161	21	<p>① 小学校における学力向上の推進</p> <p>少人数学級の推進や学習支援ボランティアの活用など、きめ細かな指導体制の充実を図り、児童の学習意欲の向上と確かな学力の定着に取り組む。</p> <p>学びの過程を重視し、自分の良さや可能性を認識できるような関わりを通して、自己肯定感を育み、協働して様々な課題を解決していく態度の醸成に取り組む。</p> <p>学力調査により定期的な学力の定着状況を把握・分析し、授業改善に生かしていくとともに、地域や家庭、関係機関との連携により児童の自立的な学びを促進し、学力の底上げに取り組む。</p>	<p>① 小学校における学力向上の推進</p> <p>少人数学級の推進や学習支援ボランティアの活用など、きめ細かな指導体制の充実を図る他、ICT等の活用による個別最適な学びの推進により、自立し主体的に学習できる児童の育成及び確かな学力の定着に取り組む。</p> <p>学びの過程を重視し、子どもの主体性を引き出す活動を十分に行うとともに、自分の良さや可能性を認識できるような関わりを通して、自己肯定感を育み、協働して様々な課題を解決していく態度の醸成に取り組む。</p> <p>諸学力調査により定期的に学力状況を把握・分析し、授業改善に生かしていくとともに、地域や家庭、関係機関との連携により児童の学習意欲の向上に取り組む。</p>	<p>・小学校、中学校、高等学校と、学力に関して抱えている問題がかなり違う状況の中で、ほぼ似たような書き方でいいのか、小学校、中学校、高等学校、書き方は共通しているが、それぞれに抱えている課題が大きく違うという視点で書いたほうがいい。</p> <p>・小学校は「学習支援ボランティア」、中学校は「学習支援員」の記述があるが、制度が違うのだろうか。</p>	<p>【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。</p>

新たな振興計画(素案)に対する修正意見審議結果一覧(学術・人づくり部会)

部会名: 学術・人づくり部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正案等)	理由等	審議結果(案)
14	4	161	31	<p>② 中学校における学力向上の推進 少人数学級の推進や学習支援員等の活用など、きめ細かな指導体制の充実を図り、生徒の学習に対する目的意識の醸成と確かな学力の定着に取り組む。 学びの過程を重視し、自分の良さや可能性を認識できるような関わりを通して、自己肯定感を育み、協働して様々な課題を解決していく態度の醸成に取り組む。 諸学力調査による定期的な学力状況の把握・分析を生かして、組織的な授業改善の強化を図るとともに、地域や家庭、関係機関との連携により生徒が学ぶことの意義を実感できる環境を整え、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力の育成に取り組む。</p>	<p>② 中学校における学力向上の推進 少人数学級の推進や学習支援員等の活用など、きめ細かな指導体制の充実を図る他、ICT等の活用による個別最適な学びを推進し、自立し主体的に学習できる生徒の育成及び確かな学力の定着に取り組む。 学びの過程を重視し、子どもの主体性を引き出す活動を十分に行うとともに、自分の良さや可能性を認識できるような関わりを通して、自己肯定感を育み、協働して様々な課題を解決していく態度の醸成に取り組む。 諸学力調査により定期的に学力状況を把握・分析し、校内研修の活性化、組織的な授業改善の充実を図る他、地域や家庭、関係機関との連携により生徒が学ぶことの意義を実感できる環境を整えることで、生徒の学習に対する目的意識の醸成を図り、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力の育成に取り組む。</p>	<p>・「生徒の学習に対する目的意識の醸成と」を削除した方がよいのではないかと。 「生徒の学習に対する目的意識」については、p.162/5行目「地域や家庭、関係機関との連携により～」の部分との関係性が強いかと思うので、そこにまとめたほうがよいのではないかと。 ・「少人数学級の推進や学習支援員等の活用など、きめ細やかな指導体制の充実を図る」ことが「生徒の学習に対する目的意識の醸成」に繋がるものか疑問がある。 ・校内研修を大切にして、職員の意志統一や知識・能力を高めてほしい。</p>	<p>【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。</p>

新たな振興計画(素案)に対する修正意見審議結果一覧(学術・人づくり部会)

部会名: 学術・人づくり部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正案等)	理由等	審議結果(案)
15	4	162	9	③ 高等学校における学力向上の推進 学習支援員等の活用など、きめ細かな指導体制の充実を図り、生徒の学習に対する目的意識の醸成と基礎的な学力の定着に取り組む。 高校生が大学等で講義を受講する機会を創出し、目的意識の明確化を図ることで主体的に学ぶ意欲の育成に取り組む。	③ 高等学校における学力向上の推進 育成を目的とする資質・能力を明確化し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進め、確かな学力の定着を図るとともに、学習支援員等の活用などによるきめ細かな指導体制を充実させ、基礎的な学力の定着に取り組む。 高校生が大学等で講義を受講する機会を創出するなど 高大連携を推進し、目的意識の明確化を図る ことで主体的に学ぶ意欲の育成に取り組む。	・「確かな学力」がつけば、これには基礎的なものが育ってくる。それが高校のところでいきなり「基礎的な学力」の書き方になっている。小中で確かな学力をつけていたら基礎的なものは身につけているのに、高校であえてここで「基礎的」という表現に少し違和感を覚える。もう少し説明や表現を変えたりしたらどうか。 ・大学の知見を高校教育にとり入れられるべきである。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。
16	4	162	28	人権教育に関する講話、体験活動への支援、道徳教育研究推進校の設定等により人権・道徳教育の充実に取り組む。	人権教育に関する講話、体験活動への支援、道徳教育研究推進校の設定等により人権・道徳教育を充実させると共に、 教職員自らが高い人権意識を持ち教育活動に取り組む。	先日、県立高校の生徒が部顧問の心ない暴言によって尊い命を自ら絶った。この事件は大きな社会問題になり県議会でもとり上げられている。これは教師の資質の問題と部活動のあり方が問われている。以前、県教委は全教員対象のカウンセリング研修を行ったこともある。 今、教員の心の豊かさや使命感を啓発する研修等を計画し、県民の不安に応える必要がある。「新たな振興計画」の中で教師のあり方や教師像、研修体系などの提案を検討してみてもどうでしょうか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。

新たな振興計画(素案)に対する修正意見審議結果一覧(学術・人づくり部会)

部会名: 学術・人づくり部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)
17	4	162	33	道徳科、特別活動、総合的な学習の時間を活用し、平和教育に取り組む。	道徳科、特別活動、 総合的な学習の時間等 を活用し、平和教育に取り組む。	豊かな心を育む教育実践を、平和教育に限定せず、幅広い観点からの実践する。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。
18	4	163	14	スクールソーシャルワーカーの活用や学校・家庭・地域がいじめ対策	スクールソーシャルワーカー、 スクールロイヤー等 の活用や学校・家庭・地域がいじめ対策	スクールロイヤーの導入も検討してはどうか。 学校現場や教育委員会だけでは対応が難しいケースが見受けられる。当事者の人権や生命を守るという観点では初動のスピードと対応が重要であり、学校現場の負担軽減も視野に入れて、スクールロイヤーの導入または導入支援は早急に必要ではないか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。
19	4	164	7	非認知能力を育成し、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、	非認知能力を育成すると共に、 キャリア教育の視点に立ち 、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、	キャリア教育に、高等教育との連携みないなところも含めて議論いただきたい。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。

新たな振興計画(素案)に対する修正意見審議結果一覧(学術・人づくり部会)

部会名: 学術・人づくり部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)
20	4	164	28	<p>③ 学校教育におけるキャリア教育の推進 「沖繩県キャリア教育の基本指針」に基づき、教育活動全体を通して、キャリア教育を促す取組のほか、小中高等学校の12年間の学びや努力の足あとをつなぐ「キャリア・パスポート」の推進に取り組む。職場見学や職場体験を通して子どもたちの将来や仕事について考えるきっかけを創出することで、学がことと社会との接続を意識し、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身につけていくことができるキャリア教育に取り組む。</p>	<p>③ 学校教育におけるキャリア教育の推進 「沖繩県キャリア教育の基本指針」に基づき、教育活動全体を通して、キャリア形成を促す取組を推進し、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる基礎的・汎用的能力の育成を意識した取組を推進する。 小中高等学校の学びをつなぐ「キャリア・パスポート」の取組や、職場見学、職場体験等を通して子どもたちの将来や仕事について考えるきっかけを創出し、学がことと社会との接続を意識した取組を推進する。</p>	<p>・「教育活動全体を通してキャリア教育を促す取組」について、もう少し説明を加える必要がないだろうか。 ・現在、キャリア教育においては、「教育活動全体を通してキャリア教育を促す取組」の方が、後述の職場見学や職場体験などより重要性が注目されているが、この文章ではそこを読み流してしまい、「キャリア・パスポート」「職場見学・職場体験・インターンシップ」をやっているればキャリア教育ができているとはれかねない。 ・産業教育は高等教育からスタートしては遅いと思う。国も義務教育からの産業教育を推進しており、沖縄県でも雇用政策としてはあるが、商工労働部で取り組まれている。 ・新たな振興計画では、中長期的な産業施策としての視点で素案に取り入れる方が望ましいと思う。義務教育からの産業教育という趣旨に適した箇所に追記してはどうか。</p>	<p>【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。</p>

新たな振興計画(素案)に対する修正意見審議結果一覧(学術・人づくり部会)

部会名: 学術・人づくり部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)
21	4	165	3	高等学校において、インターンシップや総合的な探求の時間等の学習活動を通して、生徒の「望ましい勤労観、職業観」の育成に取り組む。	高等学校において、総合的な探求の時間や学校行事、各教科・科目における学習等、教育活動全体を通じて必要な資質・能力の育成を図り、生徒が主体的に進路を選択・決定するために必要な支援に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 文科省は「探究」を採用している。 高等学校のキャリア教育の目標が「望ましい勤労観、職業観」でよいかが要検討である。 専門高校だけではなく普通科の高校でも魅力ある学校づくり、地方創生等々との教育内容の連携も必要になってくる。産業界との具体的な、もう少し踏み込んだ連携も踏まえた上で、高校のキャリア教育の沖縄県の目標値はやり直す必要がある。 	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。
22	4	165	12	小中連携教育や中高一貫教育の推進による一貫した教育指導体制の構築、様々な専門教育の充実など、二一スを踏まえた取組を推進するとともに、教員が子どもたちと向き合う時間の確保に取り組む。	小中連携教育や中高一貫教育の推進による一貫した教育指導体制の構築、様々な専門教育の充実など、二一スを踏まえた取組を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 「小中連携教育や二一ス」を踏まえた取組を推進する」と「教員が子どもたちと向き合う時間の確保」は、別項目であれば、一文にまとめないほうがよいのではないかと評価する項目を一文にいれると評価指標があいまいになる。 	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。

新たな振興計画(素案)に対する修正意見審議結果一覧(学術・人づくり部会)

部会名: 学術・人づくり部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)
23	4	165	15	幅広い地域住民等の参画を得て、社会全体での教育を実現するため、コミュニティスクールや地域学校協働活動の一体的推進に取り組む。	幅広い地域住民等が参画することにより、教育活動や地域学校協働活動の充実や活性化につながることから、コミュニティスクールと地域学校協働本部の一体的推進に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 文科省の表記に統一した方がよいのではないか。 この目的だと「学校支援」の視点から抜け出していない。これからの時代の変化の中で、地域と学校が連携することでいかに地域の課題を解決し、地域の未来を創っていくか、という視点(コミュニティ・スクールや地域学校協働活動の正確な目的)を含めてもらいたい。 	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。

新たな振興計画(素案)に対する修正意見審議結果一覧(学術・人づくり部会)

部会名: 学術・人づくり部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)
24	4	165	17	産業教育のための実験実習に必要な装置等の整備や情報に関する専門教科を推進し、専門教育の充実を図る。	産業界、専門高校、高等教育機関、行政が連携したプラットフォームの構築や担い手育成、産業教育の実験実習に必要な装置等の整備、情報に関する専門教科の充実により、専門教育の推進に取り組む。	<p>・P.169/7行目「産業と高等教育機関等の連携による実践的なキャリア教育の推進」の内容は、高校のキャリア教育にも必要な要素であり、p.168/32行目「地域連携プラットフォーム」の対象に高校も含めるよう検討願いたい。</p> <p>・保育士をめざし折角、保育コース等を選択しても保育士の資格取得へとキャリアアップすることができず、夢を諦める生徒が多いと聞くので手厚い支援が必要だと思ふ。</p> <p>・将来介護福祉関連の仕事に生徒が就いてくれることは貴重な存在であり、ハローワークなども連携して就職支援をしてほしい。</p> <p>・農業高校や水産高校を卒業しても別の職種に就く生徒が多いと聞くので、魅力ある職場の開拓が行政として必要と考える。</p>	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。
25	4	166	3	校務支援システムの充実など校務のデジタル化、負担軽減対策検討委員会の各校の設置など業務の効率化に向けた取組を推進する。	校務支援システムの充実など校務のデジタル化や、沖縄県教職員業務改善推進委員会で検討した学校現場の業務改善を推進し、原簿生徒と向き合う時間の確保等に取り組む。	「教員が子どもたちと向き合う時間の確保」だけでも重要な、大変な取組であるため、もう少し説明を加えてもよいのではないかと。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。

新たな振興計画(素案)に対する修正意見審議結果一覧(学術・人づくり部会)

部会名: 学術・人づくり部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)
26	4	166	26	このため、国際感覚を身に付け、教育の推進、多様な能力を引き出し伸ばす教育の推進、地域の発展に寄与する魅力ある高等教育環境の充実に取り組む。	このため、国際感覚を身に付ける教育の推進、 <u>Society5.0に対応する教育の推進</u> 、地域の発展に寄与する魅力ある高等教育環境の充実に取り組む。	多様な能力を伸ばす「ICT教育」と「科学・理科教育の充実」でよいのか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。
27	4	167	1	【追加】	—	「基地内留学」についても考える必要があるのではないか。	【原文のとおり】 (公財)沖縄県国際交流・人材育成財団においては、国際化時代における本県の振興、自立発展を担う高度な専門性・国際性を備えた有為な人材の育成を図るため、メリーランド大学等の在沖米軍施設・区域内大学就学、いわゆる基地内留学の希望者の推薦事業や当該就学者支援を実施している。 上述のとおり、当該法人の主たる公益事業として確立され、実施されていることから、原文のとおりとする。
28	4	167	5	国際感覚を肌で感じ、グローバルに活躍できる人材の育成に向け、アジア、米国、欧州、南米諸国等への留学・研修の充実に取り組む。	国際感覚を肌で感じ、グローバルに活躍できる人材の育成に向け、 <u>アジア太平洋、欧米、中南米諸国等への留学・研修</u> の充実に取り組む。	—	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。

新たな振興計画(素案)に対する修正意見審議結果一覧(学術・人づくり部会)

部会名: 学術・人づくり部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正案等)	理由等	審議結果(案)
29	4	167	12	外国語と深い関わりのあるOISTやJICA沖繩センター等との連携、海外との文化交流等を通じて、外国語や異文化に広く興味を抱ける国際理解教育の充実と外国語コミュニケーション能力の向上に取り組む。	—	OISTやJICAを外国語コミュニケーション能力の向上のために交流で活用するというのは違和感がある。本質的な内容で交流する必要があるのではないか。	【原文のとおり】 当該箇所は、国際交流及び国際理解教育におけるOISTやJICA沖繩センター等との連携について記載しているため、原文のとおりとする。 なお、県内研究機関等との連携による科学技術分野等における人材育成について168頁7行目「科学・理教教育の充実」に記載がある。
30	4	167	15	海外から帰国した児童生徒たちの受入れを円滑に進め、海外で身に付けた外国語能力や国際性等を生かした相互交流による国際理解教育の推進に取り組む。	帰国・外国人児童生徒等の受入れを円滑に進め、国際理解や多文化共生の考え方に基づく取組を行うなど、グローバル人材の育成を図る。	—	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。
31	4	167	19	イ 多様な能力を引き出し伸ばす教育の推進	イ Society5.0に対応する教育の推進	多様な能力を伸ばす「ICT教育」と「科学・理教教育の充実」でよいのか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。

新たな振興計画(素案)に対する修正意見審議結果一覧(学術・人づくり部会)

部会名: 学術・人づくり部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)
32	4	167	20	子どもたちの多様な能力を引き出し伸ばすことで、本県の社会・経済を牽引できる人材を育成する次に掲げる施策を推進する。	経済のグローバル化、AIやIoT等の先端技術による第4次産業革命など、社会経済情勢の変化に対応し、経済を牽引できる人材を育成する次に掲げる施策を推進する。	多様な能力を伸ばす＝「ICT教育」と「科学・理科教育の充実」でよいのか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。
33	4	168	1	ICTの活用・指導能力向上に向けた教職員研修の充実を図り、教員の指導能力の強化に取り組む。	ICTの活用・指導能力向上に向けた教職員研修の充実を図り、全ての教職員の指導能力の強化に取り組む。	ICTを活用した授業が日常化する中で教員の能力差で見習生徒が不利益を被らないよう悉皆研修を計画すべきである。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。

新たな振興計画(素案)に対する修正意見審議結果一覧(学術・人づくり部会)

部会名: 学術・人づくり部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正案等)	理由等	審議結果(案)
34	4	168	21	「官民が一体となって個人のキャリア形成や非認知能力の向上を支援するため、	官民が一体となって個人のキャリア形成や対人関係能力、様々な視点から社会変化等を捉える力、社会課題を発見する力などの非認知能力の向上を支援するため、	<ul style="list-style-type: none"> 一般の方が理解できる内容、説明にした方がよいのではないか。 新しく出てきている専門用語で一般的な用語ではなく説明が必要ではないか。 	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。
35	4	168	29	自らの魅力を高める教育プログラムの導入支援	高等教育機関自らの魅力を高める教育プログラムの導入支援	<p>「自ら」というのが誰を指しているのか分かりづらい。</p> <p>人材「自ら」の魅力を高める教育プログラムを導入することを指しているのか、それとも高等教育機関「自ら」の魅力を高めるために多様な人材を教育するためのプログラムを導入(構築?)することを指しているのか、どちらを指しているのか分かりやすいか書いてはどうか。</p>	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。

新たな振興計画(素案)に対する修正意見審議結果一覧(学術・人づくり部会)

部会名: 学術・人づくり部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正案等)	理由等	審議結果(案)
36	4	169	16	【追加】	-	県で取り組んでいる人材育成を、分野を越えて統括し、PDCAを回すような組織、仕組みも次期振興計画では検討していただきたい。	【原文のとおり】 沖縄県では、現行の「沖縄21世紀ビジョン基本計画」の着実な推進を図るため、「沖縄21世紀ビジョン実施計画」で示した個々の「施策」と「主要取組」を対象に進捗状況や成果指標の達成状況について、各部局においてPDCAを実施しております。 人材育成は、学校教育や、観光、福祉、ものづくり、IT、文化といった様々な産業分野、地域を支える人材等、多岐にわたり、また、人材育成に密接に関連する家庭環境、雇用環境、地域の現状等も分野ごとに異なるため、分野を超えて統括するとしても、結果個々の分野において、様々な環境を踏まえ、取り組みの効果検証を行わざるを得ないものと考えております。 このため、これら人材育成については、例えば学校教育であれば全国学力・学習状況調査における平均正答率の全国との差、IT分野であれば国家資格取得者数、ものづくりであれば製造業従事者数、地域であれば「地域おこし協力隊」及び「地域おこし協力隊マネージャー」数といった、分野ごとに指標を設定して評価することとしております。 各分野間の情報共有は重要であると考えており、今後、「地域連携プラットフォーム(仮称)」等において、これら各分野間の効果検証の情報共有を図りたいと考えており、当該箇所については原文のとおりとする。
37	4	169	23	医療・保健など地域の安心を支える人づくりに取り組む。	医療・保健、福祉など地域の安心を支える人づくりに取り組む。	「誰一人取り残すことのない、優しい社会」の実現のため、福祉は必要だと考える。	【委員意見を踏まえ当該箇所を修正】 左案のとおり修正する。

新たな振興計画(素案)に対する修正意見審議結果一覧(学術・人づくり部会)

部会名: 学術・人づくり部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正案等)	理由等	審議結果(案)
38	4	169	25	【追加】	-	<p>・ダイバーシティ雇用の推進であることももう少し明文化されるとよいのではないか。</p> <p>・Society5.0も意識したダイバーシティ雇用について記載いただくことを望みます。</p>	<p>【原文のとおり】 障害者雇用の促進については、P135の30行「③障害者の雇用の創出と働きやすい環境づくり」で取り組むこととしており、また、意見の内容については、P136の30行、基本施策3-(11)-イ「①柔軟な働き方の推進のための環境整備」に記載しているため、原文のとおりとする。</p>
39	4	169	28	職業知識、技能、能力をもった個人が適切な職業に従事することができれば、社会全体の生産を高め、社会の豊かさや発展につながり、また、個人は能力発揮による充足感のみならず所得の獲得による生活の向上に結び付く。	各自がもっている 職業知識、技能、能力を発揮できる 職業に従事することができれば、社会全体の生産を高め、社会の豊かさや発展につながり、また、個人は やりがい による充足感のみならず所得の獲得による生活の向上に結び付く。	<p>「適切な」というキーワードに本人の希望を反映させず、機械的に決めてしまうようなイメージを抱いてしまう。</p>	<p>【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。</p>
40	4	170	10	時代のニーズに適合した職業訓練を実施できる施設の整備・拡充に取り組む。	-	<p>職業能力の育成・開発は、官民の役割分担と協働体制が必要であるため。</p>	<p>【原文のとおり】 公共職業訓練施設で実施する訓練は、施設や設備投資が必要で、民間での実施が困難な「ものづくり分野」の職業訓練を主に実施しており、民間で実施が可能でかつ合理的である訓練については、民間教育訓練機関を活用した委託訓練を実施している。 そのため、職業訓練については、官民の役割分担がなされており、施設の整備・拡充につきましては、民間教育訓練機関の実情に応じて整備されるものと考えており、当該箇所については原文のとおりとする。</p>

新たな振興計画(素案)に対する修正意見審議結果一覧(学術・人づくり部会)

学術・人づくり部会

部会名:

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正案等)	理由等	審議結果(案)
41	4	170	27	産学連携の下、大学、大学院、専修学校等においてキャリアアップ・キャリアチェンジに資するリカレントプログラムの開発・展開を促進し、一人ひとりのキャリア選択に応じた学びを提供できる環境の創出に取り組む。	-	記載されている「社会参画の機会創出」という表現に異論はないが、沖縄の最も重要な社会課題である「貧困の連鎖」を断ち切るための施策でもある旨、より強い表現・メッセージ性がほしい。 また、民間レベルでもシングルマザーへのリカレント教育などの具体的な活動が動きはじめている。個々の活動で終わることがないよう、国・県・自治体に対しては積極的かつ包括的な支援をお願いしたい。	【原文のとおり】 子ども生活福祉部では、ひとり親施策におけるリカレント教育として、就職や転職・キャリアアップに有利な資格取得を目指すひとり親への支援や、ひとり親が利用しやすいよう、親の受講中に同じ施設内で子の保育サービスを提供して実施する経理事務資格取得講座の開講に取り組んでいる。 また、商工労働部では、社会人のみならず、子育て世代の女性や高齢者等を含め、世代や性別に関係なく、多様なニーズへの学び直しの機会創出に取り組むこととしている。 今後も県民一人ひとりのキャリア選択に応じた学びを提供できる環境の創出に取り組むこととしていることから、原文のとおりとする。
42	4	170	27	産学連携の下、大学、大学院、専修学校等においてキャリアアップ・キャリアチェンジに資するリカレントプログラムの開発・展開を促進し、一人ひとりのキャリア選択に応じた学びを提供できる環境の創出に取り組む。	-	人材投資による生産性については、リカレント教育の重要性およびそれを行うための大学との連携について記しておいてはいいか? どうか? 書く場所が違ってもいいか? 行政職員のリカレント教育も必要だと思えます。講演会という単発のものではなく、社会人修士なども含めて検討頂いた方が良いと思えます(企業も行政も)。	【原文のとおり】 人材投資により企業の生産性を向上させるには、大学等において、個人が「企業でどう活躍するか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」といった3つの視点で個人と企業の成長のベクトルをすり合わせたりリカレントプログラムを開発・展開することが重要です。 本施策については、産業界と大学等の連携の下、上述した視点も踏まえ、地域の産業界等のニーズにあった、リカレント教育の開発・展開を促進することに取り組んでいくことも念頭に置いており、原文の趣旨は含まれていると理解しており、原文のとおりとする。

新たな振興計画(素案)に対する修正意見審議結果一覧(学術・人づくり部会)

部会名: 学術・人づくり部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)
43	4	171	15	団体・組織等の育成に取り組む。	団体・組織等の育成と <u>連携・支援</u> に取り組む。	海岸漂着ごみ等のボランティア清掃作業は、各種団体が実施しており、その団体と連携を取る事で、活動自体が県民と共に出来るのではないか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。
44	4	171	21	【追加】	<u>保育士等の育成及び資質向上に向け、研修の充実に取り組む。</u>	・保育士の量の確保も継続して支援が必要ですが、すでに質の向上も求められているので、明記していただきたい。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり追記する。
45	4	171	25	復職支援に取り組む。	—	具体的に示すため。	【原文のとおり】 潜在保育士の復職支援として、就職説明会や復職支援セミナー、就職準備金の貸付等、様々な取組を実施しているため、当該箇所については原文のとおりとする。

新たな振興計画(素案)に対する修正意見審議結果一覧(学術・人づくり部会)

学術・人づくり部会

部会名:

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正案等)	理由等	審議結果(案)
46	4	172	20	県内で薬剤師が育成できるよう、県内国公立大学への薬学部設置など、総合的な薬剤師確保に取り組む。	-	薬学部の設置については、設置費用や運営についても負担がかかるのではないか。県内高校生で、県外の薬学部進学に授業料の負担軽減や職を条件に授業料の負担軽減や給付型の奨学金支給を検討した方が、即効性があるのではないか。	【原文のとおり】 県が実施した薬学部設置可能性等調査によると、今後も沖縄県では、薬剤師不足が続いていくとみられ、中長期的な対策が必要であること、薬学部設置により、OIST等と連携して県内の豊富な天然資源を活用した創薬分野での新たな産業新創等が期待出来ることから、薬学部の設置は薬剤師不足解消及び新たな産業振興及び人材育成等に有効な方策の一つであると考慮しており、当該箇所については原文のとおりとする。
47	4	175	18	産業化	産業界	-	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。
48	6	206	33	ICTを活用した遠隔教育や遠隔医療を推進するとともに、	高等学校等が設置されていない離島生徒の、高等学校等への進学に伴う家庭の経済的負担軽減等や、ICTを活用した遠隔教育、遠隔医療を推進するとともに、	北部圏域、中部圏域、南部圏域、宮古圏域、八重山圏域のところで共通している部分があるが、書き方について若干違いがある。 宮古、八重山は高校が設置されていない、親元を離れるというような表現等があるが、北部、南部離島でも同じような状況だと思ふ。 「南部圏域は」、「北部圏域は」も、宮古圏域、八重山圏域と同じような形で書くべきではないか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。

新たな振興計画(素案)に対する修正意見審議結果一覧(学術・人づくり部会)

部会名: 学術・人づくり部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)
49	6	214	12	ICTを活用した遠隔教育や遠隔医療を推進するとともに、	高等学校等が設置されていない離島生徒の、高等学校等への進学に伴う家庭の経済的負担軽減等や、ICTを活用した遠隔教育、遠隔医療を推進するとともに、	北部圏域、中部圏域、南部圏域、宮古圏域、八重山圏域のところで共通している部分があるが、書き方について若干違いがある。 宮古、八重山は高校が設置されていない、親元を離れるというような表現等があるが、北部、南部離島でも同じような状況だと思ふ。 「南部圏域は」、「北部圏域は」も、宮古圏域、八重山圏域と同じような形で書くべきではないか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。
50	6	222	9	また、高等学校等への進学に伴う家庭の経済的負担の軽減等に努める。	高等学校等が設置されていない離島生徒の、高等学校等進学に伴う家庭の経済的負担の軽減等に努める。	北部圏域、中部圏域、南部圏域、宮古圏域、八重山圏域のところで共通している部分があるが、書き方について若干違いがある。 宮古、八重山は高校が設置されていない、親元を離れるというような表現等があるが、北部、南部離島でも同じような状況だと思ふ。 「南部圏域は」、「北部圏域は」も、宮古圏域、八重山圏域と同じような形で書くべきではないか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。

新たな振興計画(素案)に対する修正意見審議結果一覧(学術・人づくり部会)

部会名: 学術・人づくり部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正案等)	理由等	審議結果(案)
51	6	227	1	本圏域には宮古島を除いて高等 学校が設置されていないため、多 良間村内の児童は中学校卒業とと もに親元を離れ、宮古島や沖繩本 島の高等学校へ進学しているこ とから、進学に伴う家庭の経済的 負担軽減等を図る。	本圏域には宮古島を除いて高等 学校が設置されていないため、多 良間村内の生徒は中学校卒業とと もに親元を離れ、宮古島や沖繩本 島の高等学校等へ進学している ことから、進学に伴う家庭の経済 的負担軽減等を図る。	北部圏域、中部圏域、南部圏域、 宮古圏域、八重山圏域のところで 共通している部分があるが、書き 方について若干違いがある。 宮古、八重山は高校が設置され ていない、親元を離れるというよう な表現等があるが、北部、南部離 島でも同じような状況だと思ふ。 「南部圏域は」、「北部圏域は」 も、宮古圏域、八重山圏域と同じよ うな形で書くべきではないか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。
52	6	233	30	本圏域には石垣島を除いて高等 学校が設置されていないため、島 内の児童は中学校卒業とともに親 元を離れ、石垣島や沖繩本島等の 高等学校へ進学していることから、 進学に伴う家庭の経済的負担軽減 等を図る。	本圏域には石垣島を除いて高等 学校が設置されていないため、島 内の生徒は中学校卒業とともに親 元を離れ、石垣島や沖繩本島等の 高等学校等へ進学していることか ら、進学に伴う家庭の経済的負担 軽減等を図る。	北部圏域、中部圏域、南部圏域、 宮古圏域、八重山圏域のところで 共通している部分があるが、書き 方について若干違いがある。 宮古、八重山は高校が設置され ていない、親元を離れるというよう な表現等があるが、北部、南部離 島でも同じような状況だと思ふ。 「南部圏域は」、「北部圏域は」 も、宮古圏域、八重山圏域と同じよ うな形で書くべきではないか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。

(別紙2)

関連体系図(案)に対する修正意見審議結果一覧(学術・人づくり部会)

部会名:学術・人づくり部会

① 主要指標		指 標 名	指 標 (案)	目 標 値	理 由 等	審 議 結 果 (案)
基本施策番号	指 標					
5-(2)		「将来の夢や目標を持っている」児童生徒の割合	「 <u>将来の夢や目標を持ち、自らやると決めたことをやり遂げる児童生徒の割合</u> 」	-	<ul style="list-style-type: none"> ・夢や目標は単なる願いもあり、夢や目標が現在の学びにつながるものが大切 ・「生きる力」は「将来の夢や目標がある」では測れない、「生きる力」の定義に基づいて指標設定すべき 	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。

関連体系図(案)に対する修正意見審議結果一覧(学術・人づくり部会)

<p>5-(3)</p>	<p>入職者に占める高等教育修了者の割合</p>	<p>-</p>	<p>-</p>	<p>「多様な能力を育てる」という大きな目標の指標に、「入職者に占める高等教育修了者の割合」と限定してよいか疑問に感じる。 令和3年3月に発表された「多様な人材の育成に関する万国津梁会議最終報告書」の序文に「人材育成の対象者は、幼児から社会人としている。」とあります。能力を育てるのは、就学見前教育を含む学校教育、そして企業での人材教育、リカレント教育も含めた様々な“場”と“連携”の数が重要とされました。当報告書を参照し、本部会で議論、再考されることを望みます。</p>	<p>【原文のとおり】 「就学前教育を含む学校教育力」については「5-(2)「生きる力」を育む学校教育の充実」に整理され、この中で取り組むこととしております。 また、企業での人材教育、リカレント教育については「5-(4)人口減少に対応し、地域社会を支える人づくりと人材の確保」に整理され、この中で取り組むこととしております。 「5-(3)多様な能力を育て、力強く未来を拓く人づくり」としては、3つの施策展開を踏まえ「入職者に占める高等教育修了者の割合」を主要指標として整理しているため、原文のとおりとする。</p>
--------------	--------------------------	----------	----------	--	---

(別紙2)

関連体系図(案)に対する修正意見審議結果一覧(学術・人づくり部会)

② 成果指標		指標名	指標(案)	目 標 値	理 由 等	審 議 結 果 (案)
施策番号	5-(1)-ア①	公民館等の利用延べ人数	-	-	公民館は選挙や地域行事の会場になることも多いため、利用者数のみでは「多様な学習機会の創出及び提供」に寄与しているかをはかるのは難しい。また、社会教育施設等の整備・充実や社会教育指導者等の資質向上に対する指標の検討も必要。	【原文のとおり】 「公民館利用者延べ人数」の調査を行う際は「多様な学習機会の創出と提供」という視点での利用者数となるよう、延べ人数に含めるケースを明確に示していくこととしており、原文のとおりとする。

(別紙2)

関連体系図(案)に対する修正意見審議結果一覧(学術・人づくり部会)

5-(1)-イ①	家庭教育支援アドバイザー イザ一教	-	-	支援の実施回数も目標に追加出来ないか。	【原文のとおり】 家庭教育支援アドバイザーは、保護者と地域のつながりをつくり、保護者の相談にのり、きめ細かな助言を行うなど、保護者や地域に寄り添い支援を行う人材となります。成果指標は1施策、1指標というルールもありことから、市町村主体となりその地域において家庭教育支援が行われていることを示す指標として選定し、原文のとおりとする。
5-(1)-イ①	家庭教育支援アドバイザー イザ一教	-	-	施策①②「つながりが創る豊かな家庭教育機能の充実」「学校・家庭・地域社会の相互の連携及び協力」の成果指標は、家庭教育支援アドバイザー一教、放課後子ども教室に参加した地域ボランティアの延べ人数とあるが、コミュニティスクールや地域学校協働活動などについても記載するべきではないか。	【原文のとおり】 コミュニティ・スクールや地域学校協働活動に係る施策については、165頁15行目から16行目に記載していることから、原文のとおりとする。

(別紙2)

関連体系図(案)に対する修正意見審議結果一覧(学術・人づくり部会)

5-(1)-イ②	放課後子ども教室に参加した地域ボランティアの延べ人数	-	-	<p>施策①②「つながりが創る豊かな家庭教育機能の充実」「学校・家庭・地域社会の相互の連携及び協力」の成果指標は、家庭教育支援アドバイザー一教、放課後子ども教室に参加した地域ボランティアの延べ人数とあるが、コミュニティスクールや地域学校協働活動などについても記載するべきではないか。</p>	<p>【原文のとおり】 コミュニティ・スクールや地域学校協働活動に係る施策については、165頁15行目から16行目に記載していることから、原文のとおりとする。</p>
5-(2)-ウ②	「自分には良いところがある」と考えている児童生徒の割合	-	-	<p>「自分には良いところがある」は自己肯定感の指標ではないか。</p>	<p>【原文のとおり】 成果指標については、なるべく全国比較が出来る既存調査結果を成果指標に採用しており、当該指標については、文部科学省が毎年実施している「全国学力・学習状況調査」における質問紙調査の項目を採用しており、原文のとおりとする。</p>

(別紙2)

関連体系図(案)に対する修正意見審議結果一覧(学術・人づくり部会)

5-(2)-ウ③	「人の役に立つ人間 になりたい」と考えて いる児童生徒の割合	【家で自ら計画を立て て勉強している児童・ 生徒の割合】	-	キャリア教育の第一の狙い は子どもたちの将来の夢、目標 の育成である。	【委員意見を踏まえ該当箇所 を修正】 左案のとおり修正する。
----------	--------------------------------------	------------------------------------	---	---	--------------------------------------

(別紙2)

関連体系図(案)に対する修正意見審議結果一覧(学術・人づくり部会)

5-(3)-ウ③	大卒者進路未定者率	-	-	<p>産業教育は高等教育からスタートしては遅いと思います。他国の経済白書において「早期から自国の産業を識ることは個人のキャリア形成と経済振興に寄与する」といった趣旨の報告があります。国も初等教育からの産業教育を推進しておりますし、中長期的な視点での施策と成果指標が望ましい。</p>	<p>【原文のとおり】 「初等教育におけるキャリア教育」については、「5(2)ウ③学校教育におけるキャリア教育の推進」で整理され、この施策の中で「人の役に立つ人間になりたい」と考える児童生徒の割合を成果指標として取り組むこととしている。 本施策においては、高等教育機関の学生等がそれぞれ専門分野の知識・技能を生かして職業を通じて社会に関わっていくことを課題や目標に設定してキャリア教育を促進していく内容となっていることから「大卒者進路未定率」を成果指標として整理しているため、原文のとおりとする。</p>
5-(3)-ウ③	大卒者進路未定者率	-	-	<p>未決定者率の減少そのものが目標である。</p>	<p>【原文のとおり】 減少を目指すべきものであり、毎年の進捗管理(PDCA)においては、その減少が進むことで取組が効果的に進んでいることを確認し評価することとしているため、原文のとおりとする。</p>

(別紙3)

自由意見の一覧(学術・人づくり部会)

- 1 例えば市町村史の編さん室には優秀な人材が集まっているものの、任期が3年等となっており、雇用の場がなかなか安定されていないことを非常に感じている。
 沖縄県の人材育成と雇用の場の確保と拡大をセットにして考えていくことが非常に重要で、沖縄で必要とされている人材は何か、今足りない人材は何か、どのような人材が今後必要になってくるかを、大きな戦略的なものを描かないと、人材育成と現場の間で、必要とされる人材ニーズのミスマッチが生じてくる。

- 2 県内の高校生は、県内で学びたいという意欲が強いので、そういったところを支援するのは非常に重要ではないか。県内で学びたいと考えている、あるいは学んでいる大学生に対する配慮が今のところないと思うので、そのあたりも検討していく必要がある。